

■学会発表

部 署	内科（腎臓・透析）
発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	太田 矩義・足立 陽子・西尾 晃
演 題	多発性骨髄腫の治療中に急速進行性糸球体腎炎を呈した一例
学会・研究会名	第 61 回 日本透析医学会学術集会・総会
開 催 日	2016. 6. 10
開 催 地	大阪国際会議場
発 表 者	足立 陽子 【座長】
共同研究者名	
演 題	
学会・研究会名	第 22 回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会
開 催 日	2016. 9. 24
開 催 地	札幌プリンスホテル
発 表 者	太田 矩義
共同研究者名	田本 勇太・足立 陽子・西尾 晃
演 題	保存的治療で管理出来た被嚢性腹膜硬化症の 2 症例
学会・研究会名	第 22 回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会
開 催 日	2016. 9. 25
開 催 地	札幌プリンスホテル
発 表 者	田本 勇太
共同研究者名	太田 矩義・足立 陽子
演 題	「急速に進行する腎障害を伴った骨髄腫の 1 例」
学会・研究会名	第 62 回 兵庫県腎臓研究会
開 催 日	2017. 3. 4
開 催 地	神戸ポートピアホテル本館 地下 1 階「和楽」
発 表 者	足立 陽子 【座長】
共同研究者名	
演 題	
学会・研究会名	第 215 回 近畿地方会
開 催 日	2017. 3. 25
開 催 地	神戸国際会議場

学会発表

部 署	内科（血液・免疫）
発表者	佃 綾乃【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・山田 紀子・西尾 晃
演 題	高齢者T細胞リンパ芽球性リンパ腫（T-LBL）に対する減量ネララビン使用経験
学会・研究会名	第105回 近畿血液学地方会
開催日	2016.6.18
開催地	テイジンホール
発表者	足立 陽子【座長】
共同研究者名	
演 題	
学会・研究会名	MPN Conference
開催日	2016.9.30
開催地	神戸 西神オリエンタルホテル
発表者	後藤 有基【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	自家末梢血幹細胞移植後に薬剤性過敏症候群（DIHS）を発症したびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）の1例
学会・研究会名	兵庫県中部血液研究会
開催日	2016.10.1
開催地	伊丹シティホテル
発表者	Jumpei Todoroki
共同研究者名	Yoko Adachi
演 題	Development of polymyositis during treatment of multiple myeloma with thalidomide
学会・研究会名	第78回 日本血液学会学術集会
開催日	2016.10.13
開催地	パシフィコ横浜
発表者	後藤 有基【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	自家末梢血幹細胞移植後に薬剤性過敏症候群（DIHS）を発症したびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）の1例
学会・研究会名	第106回 近畿血液学地方会
開催日	2016.10.29
開催地	コングレコンベンションセンター グランフロント大阪内
発表者	足立 陽子【座長】
共同研究者名	
演 題	
学会・研究会名	骨髓不全フォーラム
開催日	2016.11.4
開催地	ANAクラウンプラザホテル神戸

■学会発表

発 表 者	後藤 有基 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	難治性の後天性血友病の一例
学会・研究会名	関西血友病治療研究会
開 催 日	2016. 11. 12
開 催 地	第一ホテル大阪

発 表 者	佃 綾乃 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	当院におけるエロツズマブの使用経験
学会・研究会名	第三回 樺の会兵庫県血液内科女性医師の会
開 催 日	2017. 2. 17
開 催 地	神戸メリケンパークオリエンタルホテル

発 表 者	松本 藍 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・三宅 敏彦
演 題	剖検にて所見が確認された急性骨髄性白血病地固め療法後敗血症死亡例
学会・研究会名	兵庫県中部血液研究会
開 催 日	2017. 2. 25
開 催 地	尼崎市 ライクスホール

部 署 循環器内科

発 表 者	田谷 俊彦
共同研究者名	田中 哲也・下田 義晃・佳山 智生・馬崎 徹・山本 和人・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	急激な経過を辿った自然発症の腫瘍崩壊症候群の1症例
学会・研究会名	第211回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2016. 6. 24
開 催 地	大阪

発 表 者	下田 義晃
共同研究者名	田中 哲也・田谷 俊彦・佳山 智生・馬崎 徹・山本 和人・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	糖尿病患者におけるCKD分類とSYNTAX scoreの関係
学会・研究会名	第64回 日本心臓病学会学術集会
開 催 日	2016. 9. 24
開 催 地	東京

発 表 者	下田 義晃
共同研究者名	田谷 俊彦・佳山 智生・馬崎 徹・山本 和人・田中 哲也・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	SYNERGY stent 留置後、ステント遠位部にstent deformationを認めた1症例
学会・研究会名	第27回 日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会
開 催 日	2016. 10. 6
開 催 地	

■学会発表

発 表 者	田谷 俊彦
共同研究者名	田中 哲也・下田 義晃・佳山 智生・馬崎 徹・山本 和人・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	繰り返すステント内再狭窄に対し運動負荷心筋血流シンチグラフィにて再狭窄を予見できなかった1例
学会・研究会名	第122回 日本循環器学会近畿地方会
開 催 日	2016.11.26
開 催 地	大阪

発 表 者	下田 義晃
共同研究者名	田中 哲也・田谷 俊彦・佳山 智生・馬崎 徹・山本 和人・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	The Relationship between the Stage of CKD and the Complexity of Coronary Artery Disease in Diabetic Chronic Kidney Disease Patients
学会・研究会名	第81回 日本循環器学会学術集会
開 催 日	2017.3.17
開 催 地	金沢

部 署 消化器内科

発 表 者	小中 義禎
共同研究者名	古志谷 達也・榊田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一・伊藤 義人
演 題	ERCP 後膵炎の発症予防に関する検討：膵管ステント留置、NSAID 投与、及び両者併用の効果について
学会・研究会名	第91回 日本消化器内視鏡学会総会
開 催 日	2016.5.13
開 催 地	グランドプリンスホテル新高輪

発 表 者	楠瀬 正哉 【臨床研修医】
共同研究者名	中野 圭明・小中 義禎・榊田 昌隆・婦木 秀一・古志谷 達也
演 題	Roux-en-Y 再建術後の輸入脚症候群に対して内視鏡下バルーン拡張術が奏効した2例
学会・研究会名	日本消化器内視鏡学会近畿支部第96回支部例会
開 催 日	2016.6.11
開 催 地	京都テルサ

発 表 者	後藤 有基 【臨床研修医】
共同研究者名	婦木 秀一・小中 義禎・榊田 昌隆・中野 圭明・古志谷 達也
演 題	内視鏡的整復後に腹腔鏡下根治術を施行した胃軸捻転症の1例
学会・研究会名	日本消化器内視鏡学会近畿支部第96回支部例会
開 催 日	2016.6.11
開 催 地	京都テルサ

発 表 者	小中 義禎
共同研究者名	古志谷 達也・中川 修史・榊田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一
演 題	悪性肝門部胆管狭窄に対する side-by-side と stent-in-stent を併用した内視鏡的胆管マルチステンティング
学会・研究会名	日本消化器内視鏡学会近畿支部第96回支部例会
開 催 日	2016.6.11
開 催 地	京都テルサ

■学会発表

発 表 者	小中 義禎
共同研究者名	古志谷 達也・中野 圭明・婦木 秀一・伊藤 義人
演 題	ERCP 後膵炎の発症予防に関する無作為化比較試験：膵管ステント留置、NSAID 投与、及び両者併用の効果
学会・研究会名	日本消化器内視鏡学会近畿支部第 96 回支部例会（ワークショップ）
開 催 日	2016. 6. 11
開 催 地	京都テルサ

発 表 者	中野 圭明
共同研究者名	曾我 耕次・婦木 秀一・古志谷 達也
演 題	悪性大腸狭窄に対する治療戦略：当院での取り組み
学会・研究会名	日本消化器病学会近畿支部第 105 回例会（シンポジウム）
開 催 日	2016. 9. 17
開 催 地	大阪国際交流センター

発 表 者	田村 証司【臨床研修医】
共同研究者名	古志谷 達也・中川 修史・小中 義禎・桂 明子・中野 圭明・婦木 秀一・森 敬弘・市川 寛
演 題	当院における超音波内視鏡ガイド下胆管ドレナージ（EUS-BD）の経験
学会・研究会名	銀杏会学術集談会
開 催 日	2016. 11. 23
開 催 地	京都府立医科大学 臨床講義棟南臨床講義室

発 表 者	小中 義禎
共同研究者名	桂 明子・中野 圭明・婦木 秀一・中川 修史・古志谷 達也
演 題	当院における超音波内視鏡ガイド下胆管ドレナージ（EUS-BD）の経験
学会・研究会名	第 50 回 兵庫県内視鏡治療談話会
開 催 日	2016. 11. 30
開 催 地	クラウンパレス神戸

発 表 者	中野 圭明
共同研究者名	古志谷 達也
演 題	悪性大腸狭窄に対する治療戦略：当院での取り組み
学会・研究会名	第 3 回 北神消化器病セミナー
開 催 日	2017. 2. 9
開 催 地	神戸三宮 東急 REI ホテル

発 表 者	田村 証司【臨床研修医】
共同研究者名	婦木 秀一・小中 義禎・中野 圭明・古志谷 達也
演 題	薬剤誘発性と考えられた自己免疫性肝炎の 1 例
学会・研究会名	日本消化器病学会近畿支部第 106 回例会
開 催 日	2017. 2. 25
開 催 地	大阪国際交流センター

■学会発表

発 表 者	婦木 秀一
共同研究者名	森 敬弘・小中 義禎・古志谷 達也
演 題	当院における DAAs 併用療法の治療成績
学会・研究会名	日本消化器病学会近畿支部第 106 回例会（シンポジウム）
開 催 日	2017. 2. 25
開 催 地	大阪国際交流センター

部 署

発 表 者	後藤 有基 【臨床研修医】
共同研究者名	大杉 修二・美藤 文貴・荻野 浩嗣
演 題	加湿器が原因と考えられた過敏性肺炎の 1 例
学会・研究会名	第 213 回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2016. 9. 24
開 催 地	大阪国際交流センター

発 表 者	後藤 有基 【臨床研修医】
共同研究者名	大杉 修二・美藤 文貴・荻野 浩嗣・足立 陽子※（※血液内科）
演 題	胸腔穿刺で診断し得たリンパ腫の 1 例
学会・研究会名	第 22 回 Kyoto Chest Club
開 催 日	2017. 2. 4
開 催 地	京都ホテルオークラ

部 署

発 表 者	原 敦
共同研究者名	小別所 博
演 題	ウイルス感染に伴う多発脳神経障害の 4 例の臨床的検討
学会・研究会名	第 57 回 日本神経学会学術大会
開 催 日	2016. 5. 20
開 催 地	

発 表 者	末廣 大知
共同研究者名	原 敦・小別所 博・三宅 俊彦・関島 良樹
演 題	腹部皮下脂肪吸引から家族性アミロイドポリニューロパチーの診断に至った 1 例
学会・研究会名	第 106 回 日本神経学会近畿地方会
開 催 日	2016. 11. 19
開 催 地	メルパルク京都

発 表 者	末廣 大知
共同研究者名	小別所 博・原 敦・藤井 光広
演 題	超急性期脳梗塞との鑑別に苦慮した ACTH 単独欠損症による低血糖性片麻痺の 1 例
学会・研究会名	第 215 回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2017. 3. 25
開 催 地	

学会発表

部 署	小 児 科
発 表 者	山下 哲史
共同研究者名	千代延 友裕・吉田 路子・前田 裕史・瑞木 匡・加藤 光広・才津 浩智・松本 直通・中畑 龍俊・斎藤 潤・森本 昌史
演 題	Modeling the cellular phenotype of STXBPI-related epileptic encephalopathy using iPSC
学会・研究会名	14 th International Child Neurology Congress
開 催 日	2016. 5. 1-5
開 催 地	アムステルダム（オランダ）

発 表 者	山下 哲史
共同研究者名	千代延 友裕・吉田 路子・前田 裕史・瑞木 匡・木戸脇 智志・磯田 賢一・森本 昌史・加藤 光広・才津 浩智・松本 直通・中畑 龍俊・斎藤 潤・細井 創
演 題	Modeling the cellular phenotype of STXBPI-related epileptic encephalopathy using iPSC
学会・研究会名	第 58 回 小児神経学会学術集会
開 催 日	2016. 6. 3-5
開 催 地	東京

部 署	外 科
発 表 者	高 利守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	直腸憩室穿孔に対し、腹腔鏡下ハルトマン手術を施行した一例
学会・研究会名	第 9 回 京都消化器外科臨床検討会
開 催 日	2016. 4. 9
開 催 地	京都

発 表 者	中川 登
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治 [*] ・山根 哲郎 [*] ・安川 林良 [*] （※松下記念病院外科）
演 題	微粒子活性炭による胃リンパ流検索結果からみた胃癌リンパ節郭清範囲の pitfall
学会・研究会名	第 116 回 日本外科学会
開 催 日	2016. 4. 15
開 催 地	大阪市

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後の腹腔鏡手術症例の検討
学会・研究会名	第 116 回 日本外科学会
開 催 日	2016. 4. 15
開 催 地	大阪市

発 表 者	高 利守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	降癌に対する門脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除術後、門脈完全閉塞を来したが長期経過で保存的に軽快し無再発 5 年生存を得た 1 例
学会・研究会名	第 199 回 近畿外科学会
開 催 日	2016. 5. 14
開 催 地	京都

■学会発表

発 表 者	高 利 守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	胸腔内広範囲占拠性病変像を呈しながら 8 年以上の長期生存を得ている stageⅣ乳癌の一例
学会・研究会名	第 38 回 日本癌局所療法研究会
開 催 日	2016. 6. 10
開 催 地	東京

発 表 者	高 利 守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	乳房温存術後に乳頭部に限局して発生した浸潤性乳管癌の一例
学会・研究会名	第 24 回 日本乳癌学会学術総会
開 催 日	2016. 6. 18
開 催 地	東京

発 表 者	中川 登
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治*・山根 哲郎*・安川 林良*（※松下記念病院外科）
演 題	残胃癌リンパ節転移状況と残胃リンパ流からみた残胃癌リンパ節郭清範囲の注意点
学会・研究会名	第 71 回 日本消化器外科学会
開 催 日	2016. 7. 16
開 催 地	徳島

発 表 者	高 利 守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	超高度肥満合併直腸癌に対する腹腔鏡下手術中に発生した脳血流還流障害を BIS 異常低値にて検知し得た一例
学会・研究会名	第 71 回 日本消化器外科学会
開 催 日	2016. 7. 16
開 催 地	徳島

発 表 者	平島 相治
共同研究者名	加藤 俊治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	高度炎症を伴う胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢亜全摘術の有用性
学会・研究会名	第 71 回 日本消化器外科学会
開 催 日	2016. 7. 16
開 催 地	徳島

発 表 者	高 利 守
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における小腸腫瘍性病変に対する腹腔鏡下切除症例の検討
学会・研究会名	第 29 回 近畿内視鏡外科研究会
開 催 日	2016. 9. 10
開 催 地	京都

学会発表

発表者	酒井 知人
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery (LECS)・Reduced Port Surgery (RPS) の経験
学会・研究会名	第 29 回 近畿内視鏡外科研究会
開 催 日	2016. 9. 10
開 催 地	京都

発表者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における単孔式右側結腸切除導入後の初期成績
学会・研究会名	第 29 回 近畿内視鏡外科研究会
開 催 日	2016. 9. 10
開 催 地	京都

発表者	加藤 俊治
共同研究者名	酒井 知人・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	単孔式腹腔鏡下手術を施行した閉鎖孔ヘルニアの 2 例
学会・研究会名	第 29 回 近畿内視鏡外科研究会
開 催 日	2016. 9. 10
開 催 地	京都

発表者	中川 登
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚
演 題	胃十二指腸デルタ吻合におけるダンピング、逆流性食道炎軽減の工夫
学会・研究会名	第 29 回 近畿内視鏡外科研究会
開 催 日	2016. 9. 10
開 催 地	京都

発表者	Nakagawa Noboru
共同研究者名	Soga Kouji・Nishio Minoru・Koh Toshimori・Oguro Atsushi・Okano Shinji*・Yamane Tetsuro*・Yasukawa Motoyoshi (※Matsushita Memorial Hospital)
演 題	Pancreatoduodenectomy for Locally Advanced Gastric Cancer
学会・研究会名	40 th World Congress of the International College of Surgeons
開 催 日	2016. 10. 23
開 催 地	Kyoto

発表者	Hirajima Shoji
共同研究者名	Koh Toshimori・Sakai Tomohito・Kato Syunji・Soga Kouji・Nishio Minoru・Oguro Atsushi・Nakagawa Noboru
演 題	Utility of laparoscopic subtotal cholecystectomy with or without cystic duct ligation for severe cholecystitis
学会・研究会名	40 th World Congress of the International College of Surgeons
開 催 日	2016. 10. 23
開 催 地	Kyoto

■学会発表

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当科における腹腔鏡下閉鎖孔ヘルニア修復術の治療方針
学会・研究会名	第 14 回 日本ヘルニア学会
開 催 日	2016. 10. 27
開 催 地	東京

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における BTS 術前での副病変に対する EMR 症例の検討
学会・研究会名	第 5 回 大腸ステント安全手技研究会
開 催 日	2016. 11. 4
開 催 地	神戸

発 表 者	中川 登
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治 [*] ・山根 哲郎 [*] ・安川 林良 [*] （※松下記念病院外科）
演 題	胃十二指腸デルタ吻合におけるダンピング、逆流性食道炎軽減の工夫
学会・研究会名	第 46 回 胃外科・術後障害研究会
開 催 日	2016. 10. 28
開 催 地	米子

発 表 者	高 利守
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	術前にダブルバルーン小腸内視鏡で診断し腹腔鏡下手術で切除した後、化学療法を行わず 3 年以上の無再発が得られている小腸骨髄性肉腫の一例
学会・研究会名	第 71 回 日本大腸肛門病学会
開 催 日	2016. 11. 18
開 催 地	伊勢

発 表 者	高 利守
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	平成 28 年熊本地震発災 2 週間経過後の一被災地区における災害医療ニーズについて
学会・研究会名	第 44 回 日本救急医学会
開 催 日	2016. 11. 19
開 催 地	東京

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における単孔式右側結腸切除成績
学会・研究会名	第 78 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2016. 11. 24
開 催 地	東京

■学会発表

発 表 者	高 利守
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における下部消化管穿孔に対する腹腔鏡下手術症例の検討
学会・研究会名	第 78 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2016. 11. 24
開 催 地	東京

発 表 者	加藤 俊治
共同研究者名	酒井 知人・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	統合失調症患者に生じた Free air を伴う腸管気腫症の一例
学会・研究会名	第 78 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2016. 11. 24
開 催 地	東京

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術の手技と成績
学会・研究会名	第 29 回 日本内視鏡外科学会総会
開 催 日	2016. 12. 10
開 催 地	福岡

発 表 者	高 利守
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	卵管采巻絡による腹膜透析（CAPD）カテーテル閉塞に対し腹腔鏡を用いて修復した一例
学会・研究会名	第 29 回 日本内視鏡外科学会総会
開 催 日	2016. 12. 10
開 催 地	福岡

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	電動ステープラーを語る
学会・研究会名	ステープラーを語ろう Vol. 6
開 催 日	2017. 2. 3
開 催 地	神戸

発 表 者	高 利守
共同研究者名	酒井知人・加藤俊治・平島相治・曾我耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	進行胃癌に悪性黒色腫の胃転移を合併した 1 例
学会・研究会名	第 89 回 日本胃癌学会
開 催 日	2017. 3. 10
開 催 地	広島

■学会発表

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における RPS で施行した LECS の 3 例
学会・研究会名	第 89 回 日本胃癌学会
開 催 日	2017. 3. 10
開 催 地	広島

発 表 者	中川 登
共同研究者名	酒井 知人・加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治 [※] ・山根 哲郎 [※] ・安川 林良 [※] （※松下記念病院外科）
演 題	胃癌の大動脈周囲リンパ節郭清の要点と盲点 8 カ条 ―微粒子活性炭 CH40 による胃リンパ流と術後合併症からの検討―
学会・研究会名	第 89 回 日本胃癌学会
開 催 日	2017. 3. 10
開 催 地	広島

部 署 整形外科

発 表 者	久保田 迅是 【ポスター発表】
共同研究者名	
演 題	膝関節内にピロリン酸 Ca と尿酸結晶が混在して沈着した異物反応性肉芽腫の 1 例
学会・研究会名	第 126 回 中部日本整形外科災害外科学術総会
開 催 日	2016. 4. 8
開 催 地	浜松

発 表 者	久保田 迅是 【スライド発表】
共同研究者名	
演 題	当院へのご紹介患者の経過報告
学会・研究会名	Bone&Joint Communication
開 催 日	2017. 3. 16
開 催 地	神戸市生田神社会館

部 署 泌尿器科

発 表 者	源吉 顕治
共同研究者名	玉田 博
演 題	BCG 膀胱注後に萎縮膀胱と肉芽腫性前立腺炎を発症した 1 例
学会・研究会名	第 232 回 日本泌尿器科学会関西地方会
開 催 日	2016. 5. 21
開 催 地	和歌山県 JA ビル

発 表 者	玉田 博
共同研究者名	源吉 顕治
演 題	精索に発生した線維性偽腫瘍の 1 例
学会・研究会名	第 232 回 日本泌尿器科学会関西地方会
開 催 日	2016. 5. 21
開 催 地	和歌山県 JA ビル

■学会発表

部 署		耳鼻いんこう科
発 表 者	二之湯 弦	
共同研究者名	柴田 敏章・竹中 まり・四ノ宮 隆	
演 題	外リンパ瘻症例に対する内視鏡下耳科手術 (TEES) の有用性	
学会・研究会名	第 32 回 阪神耳鼻咽喉科研究会	
開 催 日	2016. 4. 23	
開 催 地	神戸	
発 表 者	二之湯 弦	
共同研究者名	竹中 まり・柴田 敏章・四ノ宮 隆	
演 題	内視鏡下鼻副鼻腔手術 (Draf type IIb) を施行した 1 例	
学会・研究会名	第 183 回 日耳鼻兵庫県地方部会	
開 催 日	2016. 7. 9	
開 催 地	神戸	
発 表 者	柴田 敏章	
共同研究者名		
演 題	耳科手術 up-to date 当院における内視鏡下耳科手術 (TEES)	
学会・研究会名	第 21 回 京都耳鼻咽喉科疾患研究会	
開 催 日	2016. 7. 16	
開 催 地	京都	
発 表 者	柴田 敏章	
共同研究者名		
演 題	伝音再建のコツ	
学会・研究会名	第 17 回 京都側頭骨手術手技研究会	
開 催 日	2017. 1. 14	
開 催 地	京都	
部 署		脳神経外科
発 表 者	松本 圭吾	
共同研究者名	早草 健志・井下 訓見・内垣 靖子・西田 珠貴・福田 幸子・水田 裕文・倉田 佳和・大東 芳子・中村 裕子・大友 敏行	
演 題	地域の高齢化をみすえた JCHO 神戸中央病院の地域包括ケアの取組み	
学会・研究会名	第 1 回 JCHO 総合医学会	
開 催 日	2016. 2. 26-27	
開 催 地	東京	
発 表 者	永井 利樹	
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・橋村 直樹・李 哲	
演 題	Glioma に対する治療後 15 年を経て発症した頭蓋内占拠性病変の 1 症例	
学会・研究会名	第 71 回 日本脳神経外科学会近畿地方会	
開 催 日	2016. 4. 2	
開 催 地	大阪	

■学会発表

発 表 者	松本 圭吾 【座長】
共同研究者名	
演 題	動脈瘤 2
学会・研究会名	第 71 回 日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
開 催 日	2016. 4. 2
開 催 地	大阪

発 表 者	橋村 直樹
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・李 哲
演 題	放射線療法後の内頸動脈狭窄に対する CEA の一例
学会・研究会名	第 45 回 日本脳卒中の外科学会総会
開 催 日	2016. 4. 14-16
開 催 地	札幌

発 表 者	永井 利樹
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・橋村 直樹・李 哲
演 題	Distal ACA 動脈瘤クリッピングのアプローチ選択に MRI/MRA/MRV が有用であった 1 例
学会・研究会名	第 45 回 日本脳卒中の外科学会総会
開 催 日	2016. 4. 14-16
開 催 地	札幌

発 表 者	松本 圭吾
共同研究者名	永井 利樹・橋村 直樹・李 哲・松田 和也
演 題	地域の高齢化に対する急性期病院での救急・脳卒中診療体制のあり方
学会・研究会名	第 41 回 日本脳卒中学会総会
開 催 日	2016. 4. 14-16
開 催 地	札幌

発 表 者	永井 利樹
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・橋村 直樹・李 哲
演 題	再発性眼窩内血腫の 1 症例
学会・研究会名	第 72 回 日本脳神経外科学会近畿地方会
開 催 日	2016. 9. 3
開 催 地	大阪

発 表 者	松本 圭吾
共同研究者名	早草 健志・西田 珠貴・大友 敏行
演 題	地域包括ケアを急性総合病院として如何に支えるか? ～「在宅医療・介護連携支援センター」受託の経緯、意義と今後の展開～ 継続テーマシンポジウム 1 地域医療の革新と地域づくり
学会・研究会名	第 2 回 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 16
開 催 地	東京

■学会発表

発 表 者	橋村 直樹
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・李 哲・永井 利樹
演 題	当院における内頸動脈閉塞に対する急性期血行再建術の検討
学会・研究会名	第 75 回 日本脳神経外科学会総会
開 催 日	2016. 9. 29-10. 1
開 催 地	福岡

発 表 者	永井 利樹
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・橋村 直樹・李 哲
演 題	脳腫瘍に対する放射線治療後に腫瘍性病変が続発した症例に関する検討
学会・研究会名	第 75 回 日本脳神経外科学会総会
開 催 日	2016. 9. 29-10. 1
開 催 地	福岡

発 表 者	松本 圭吾
共同研究者名	永井 利樹・橋村 直樹・李 哲・松田 和也
演 題	CEA 術中のプラークの進展範囲の同定：ICG とエコーを用いた評価
学会・研究会名	第 75 回 日本脳神経外科学会総会
開 催 日	2016. 9. 29-10. 1
開 催 地	福岡

発 表 者	李 哲
共同研究者名	松本 圭吾
演 題	Large Acom 動脈瘤の一例
学会・研究会名	第 25 回 東播磨脳神経外科懇話会
開 催 日	2016. 10. 27
開 催 地	明石

発 表 者	Hashimura N
共同研究者名	Matsumoto K・Matsuda K・Li Z・Nagai T
演 題	Acute revascularization of internal carotid artery pseudo-occlusion in our institution.
学会・研究会名	13 th international symposium on thrombolysis thrombectomy and acute stroke therapy (TTST2016)
開 催 日	2016. 10. 30-11. 1
開 催 地	Kobe

発 表 者	松本 圭吾 【座長】
共同研究者名	
演 題	急性再開通 治療成績 2
学会・研究会名	第 32 回 日本脳神経血管内治療学会学術総会
開 催 日	2016. 11. 26
開 催 地	神戸

■学会発表

部 署	放射線科 診療部
発 表 者	岡本 将裕
共同研究者名	
演 題	当院における健康管理センターの現状：シンポジウム1「JCHOにおける健康管理センターの役割」
学会・研究会名	第2回 JCHO 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	東京

部 署	薬 剤 部
発 表 者	橋間 伸行
共同研究者名	木村 秀哉・佐々木 秀美
演 題	オキシコドン徐放性製剤の後発品への切り替えによる有用性の検討
学会・研究会名	第10回 緩和医療薬学会
開 催 日	2016. 6. 3-5
開 催 地	浜松

発 表 者	新屋 和馬
共同研究者名	勘田 大統・木村 秀哉・佐々木 秀美
演 題	携帯端末型ピッキングサポートシステムの導入とその成果
学会・研究会名	第2回 JCHO 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	品川

部 署	臨床検査科 診療部
発 表 者	橋本 誠
共同研究者名	石田 美保
演 題	神戸輸血免疫研究会の開催
学会・研究会名	日本輸血細胞治療学会
開 催 日	2016. 4. 28
開 催 地	京都国際会館

部 署	リハビリテーション科診療部
発 表 者	松坂 基博
共同研究者名	松本 圭吾
演 題	当院のボツリヌス療法における脳神経外科とリハビリテーション科診療部の連携について
学会・研究会名	第2回 JCHO 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	TKP ガーデンシティ品川

■学会発表

部 署	感染対策室
発 表 者	大東 芳子
共同研究者名	池上 直矢・曾我 耕次・國富 照子・喜多 由賀里・岡崎 友美・小山 理那・下川 智之
演 題	感染対策職員必須研修の参加率向上に向けた取り組み
学会・研究会名	第2回 JCHO 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	TKP ガーデンシティ品川 JCHO 本部研修棟

発 表 者	大東 芳子
共同研究者名	大野圭世子
演 題	J 病院における効果的な感染防止対策地域連携相互評価の方法
学会・研究会名	第 32 回 日本環境感染学会総会・学術集会
開 催 日	2017. 2. 24-25
開 催 地	神戸国際展示場 神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル

部 署	4 階西病棟
発 表 者	植田 千恵
共同研究者名	竹田 祐子・神谷 奈菜・吉住 彩
演 題	脳卒中看護における急性期・回復期病院との合同カンファレンスの効果
学会・研究会名	第 19 回 脳神経外科学会
開 催 日	2016. 7. 23-24
開 催 地	熊谷市

部 署	5 階東病棟
発 表 者	井上 亜由美
共同研究者名	石井 ひとみ・皆本 美喜
演 題	心肺停止蘇生後から長期入院となった患者の支援
学会・研究会名	JCHO 学会
開 催 日	2016. 10
開 催 地	品川

部 署	集中治療室
発 表 者	長濱 雅子
共同研究者名	本間 春雪
演 題	脳卒中看護における急性期・回復期病院との顔の見える関係の構築 - 合同カンファレンスの効果 -
学会・研究会名	第 27 回 神戸広域脳卒中地域連携協議会
開 催 日	2016. 6. 5
開 催 地	神戸市

発 表 者	元山 幸奈
共同研究者名	佐藤 裕美・木下 敏孝・藤本 俊一・宮川 徹・平田 誉
演 題	鎮痛・鎮静管理における現状分析とその対策
学会・研究会名	JCHO 学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	TKP ガーデンシティ品川

■学会発表

発 表 者	佐藤 裕美
共同研究者名	元山 幸奈・木下 敏孝
演 題	鎮痛・鎮静プロトコルを用いたアセスメントの実践
学会・研究会名	日本救急看護学会
開 催 日	2016. 10. 29-30
開 催 地	千葉県幕張メッセ国際会議場

部 署 附属介護老人保健施設

発 表 者	柳原 孝至
共同研究者名	石橋 昌代・井上 阿貴子・東尾 祐子・梅田 真由美・清水 由美
演 題	不適切ケア防止への取り組み ～リフレクションを通して～
学会・研究会名	JCH0 医学会
開 催 日	2016. 9. 16-17
開 催 地	JCH0 本部

発 表 者	梅田 真由美
共同研究者名	
演 題	理念に沿ったケアの実践
学会・研究会名	全国介護老人保健施設大会
開 催 日	2016. 9. 15-16
開 催 地	大阪国際会議場

部 署 訪問看護ステーション

発 表 者	山本 綾子
共同研究者名	榊田 友規子・内垣 靖子
演 題	慢性疾患療養者、家族の意向に沿った在宅看取り ～訪問看護師の関わりを振り返って～
学会・研究会名	第2回 JCH0 地域医療総合医学会
開 催 日	2016. 9. 17
開 催 地	TKP ガーデンシティ品川